

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

議会 ゆがわら



令和7年2月

No.133

題字：湯河原中学校2年 松山慶次郎さん

編集/発行 湯河原町議会

〒259-0392

神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1

TEL0465-63-2111(代) FAX0465-63-9674



消防出初式

(令和7年1月13日(月)開催)



火の用心



12月
定例会

11/27~12/9

町議会ホームページ



●
主
な
内
容
●

12月定例会・・・・・・・・・・2～5

一般質問・・・・・・・・・・5～8

常任委員会・特別委員会・・9～10

委員会等への出席・傍聴状況・・11

傍聴のご案内(3月議会日程)・・12

湯河原町議会のホームページ <https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/yugawara-gikai/>

湯河原町議会 検索

湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

12月定例会

令和6年第6回湯河原町議会12月定例会は、11月27日から12月9日までの13日間（本会議開催3日間）にわたり開催されました。

この定例会では、町側から、専決処分の承認1件、条例4件（一部改正4件）、補正予算8件、人事13件、報告1件、議会側から条例1件（一部改正1件）、合計28件を審議しました。

審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議 案 名	結果	議決日
68	専決処分の承認について（令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第8号））	承認	11/29
69	湯河原町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	11/29
71	湯河原町税条例の一部改正について	可決	11/29
72	湯河原町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	可決	11/29
74	令和6年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	11/29
75	令和6年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	11/29
76	令和6年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	11/29
77	令和6年度湯河原町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	11/29
78	令和6年度湯河原町温泉事業会計補正予算（第1号）	可決	11/29
79	令和6年度湯河原町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	11/29
82	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	12/9
83～92	湯河原町農業委員会委員の任命について	同意	12/9
93	令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第10号）	可決	12/9

賛否が分かれた議案と議員ごとの賛否内容

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名 議案番号	貴田太史	笠原進	早乙女智子	上田尚彦	熊谷照男	渡辺久子	松野洋一	石井温	善本真人	松井一寿	室伏寿美夫	山本俊明	土屋誠一	結果	議決日
70	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：11 反対：2	11/29
議員提出3	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：10 反対：3	11/29
73	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：12 反対：1	11/29
80	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 賛成：11 反対：2	12/9
81	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 賛成：12 反対：1	12/9

議決補正予算

一般会計（第8号）

1,678万4千円の増額

歳入

- ・衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行経費交付金の増額

歳出

- ・衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行経費の増額

一般会計（第9号）

4億4,881万8千円の増額

歳入

- ・障害者自立支援給付費負担金の増額
- ・児童手当負担金の増額
- ・まちづくり寄附金及びまちづくり基金繰入金の増額など

歳出

- ・人件費の増減額
- ・庁舎維持管理修繕事業の増額
- ・まちづくり寄附金推進事業及びまちづくり基金積立金の増額
- ・障がい者自立支援給付等事業の増額
- ・小児医療費助成事業の増額
- ・児童手当の増額など

一般会計（第10号）

3,566万4千円の増額

歳入

- ・防災基金繰入金の増額

歳出

- ・公共土木施設災害復旧事業の増額

一般会計補正予算の主な質疑

- ・庁舎維持管理修繕事業（工事内容について）
- ・宿泊税導入検討事業（アンケート対象者について）
- ・防犯対策推進事業（こども110番の家プレートの運用について）
- ・健康増進事業（事業内容・補正予算計上の理由について）
- ・観光施設維持管理経費（工事内容について）
- ・海浜公園管理経費及び海辺公園管理経費（維持管理業務委託料の内容について）
- ・学校施設整備事業（工事内容について）
- ・図書館施設整備事業（エレベーター内電子パネルの部品等入手について）



国民健康保険事業特別会計（第2号）

256万7千円の減額

歳入

- ・保険給付費等交付金の減額
- ・一般会計繰入金の減額

歳出

- ・一般管理費の減額

介護保険事業特別会計（第2号）

11万円の増額

歳入

- ・地域支援事業交付金の増額
- ・一般会計繰入金の減額

歳出

- ・地域包括支援センター事業費の増額
- ・一般管理費の減額
- ・予備費の減額

後期高齢者医療特別会計（第1号）

982万1千円の増額

歳入

- ・一般会計繰入金の増額
- ・前年度繰越金の増額

歳出

- ・一般管理費の増額
- ・予備費の増額

水道事業会計（第1号）

収益的収入（2万6千円の減額）

- ・他会計負担金の減額
- ・土地売却益の増額

資本的収入（1千円の増額）

- ・土地売却代金の増額

収益的支出（418万2千円の減額）

- ・人件費の減額
- ・企業債利息の増額
- など

温泉事業会計（第1号）

収益的支出（470万8千円の減額）

- ・人件費の減額
- ・送配湯管修繕費の増額
- など

下水道事業会計（第1号）

収益的支出（565万8千円の増額）

- ・人件費の減額
- ・修繕費の増額
- ・資産減耗費の増額
- など

条例の改正

●湯河原町職員の給与に関する条例（議案第69号）

人事院勧告に基づき、町職員の給与改定を行うため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例（議案第70号）

人事院勧告に基づき、一般職職員の給与改定を行うことを踏まえ、特別職職員の給与改定を行うため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町税条例（議案第71号）

地方税法及び同法施行規則の一部改正に伴い、固定資産税の規定に係る引用条項の整理及び課税標準の特例を追加するため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例（議案第72号）

水道法施行令及び同法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件を見直すため、条例の一部を改正しました。

議員提出議案

●湯河原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（議員提出3）

人事院勧告に基づき、町職員の期末勤勉手当の支給割合を改定することを踏まえ、町議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正しました。

会議録・議会映像を公開しています

●会議録公開

会議録は、会議の記録として、地方自治法において作成が義務づけられており、湯河原町議会では、ホームページ上でも公開しています。



会議録

●議会映像配信

本会議の議場内の様子を録画配信しています。



YouTube

人 事

●湯河原町教育委員会委員の任命について (議案第80号・81号)

湯河原町教育委員会にの委員に、新たに伴英美子ばん えみこさんを、引き続き西山清和にしやまきよかずさんを任命することに同意しました。

伴さんの任期は、令和6年12月9日から令和9年10月18日（前任者の残任期間）までの2年10か月間です。西山さんの任期は、令和7年2月1日から令和11年1月31日までの4年間です。

●人権擁護委員候補者の推薦について (議案第82号)

人権擁護委員の依田徳子よだ のりこさんの任期が令和7年3月31日で満了となるため、引き続き依田徳子さんを人権擁護委員候補者として、法務大臣に推薦することに同意しました。任期は令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間です。

●湯河原町農業委員会委員の任命について (議案第83号～92号)

湯河原町農業委員会委員に、新たに高杉武さたかすぎたけしん、菅沼一夫すがぬま かずおさん、市川章久いちかわあきひささん、柏木敏明かしわざとしあきさん、常盤文代とぎわ ふみよさんを、引き続き佐藤甚哉さとう じんやさん、露木洋一つゆ き よういちさん、力石誠造ちからいしせいぞうさん、刈谷和彦かりや かずひこさん、原八重子はら や えこさんを任命することに同意しました。任期は令和7年4月27日から令和10年4月26日までの3年間です。



一般質問

一般質問とは、議員が本会議で、議長の許可を得て質問することです。
※紙面の都合により、質問した各議員が要約した原稿を作成し、掲載しています。

①水道水の有機フッ素化合物(PFAS)について ②コキアの郷事業について ③農業政策について

質問通告1

早乙女智子議員



①水道水の有機フッ素化合物(PFAS)について

Q水道水のPFASは、海や土壤に蓄積するため世界的な環境問題として注目されています。湯河原町の水道水のPFASはどうなっていますか。

A令和6年から調査を開始し、広河原水系・幕山水源系・南郷水系の原水取水口、城堀水系の第一・第四水源において、いずれも1リットル当たり5ナノグラム未満であり、国の定める50ナノグラムの基準値を大幅に下回っており安全であることを確認しています。

②コキアの郷事業について

Qコキアの郷づくりについては、令和5年度の決算質疑でも質問しました。国と県、町の予算で3年間の総額は4,294万円で、すべて委託料となっていますが、事業の内訳を教えてください。

A令和4年度は決算額約176万円で100%ソフト事業、令和5年度は決算額約1,318万円でハード

事業が54%、令和6年度は予算額2,800万円でハード事業が2,300万円で、星ヶ山に新たなコキアの植栽地の整備を予定しています。

Q令和7年度は国の予算が入る最終年度となります。観光資源として成功させるためにどのような方策を考えていますか。

A引き続き、専門家等のご意見を賜り、効果検証を行いながら、コキアの郷が将来の本町の観光資源となるよう課題を解決していきます。

③農業政策について

Q農林水産業費は、町の予算の1%に過ぎません。農業従事者の高齢化への対策、耕作後継者育成への方策は十分でしょうか。

A新規就農者を増やすことは急務と考えています。耕作後継者育成等への方策として、苗木の補助で主要品種の生産力強化の支援や農業委員会で新規就農を目指す方に研修先を紹介しています。

①図書館の運営について

②湯河原中学校の校舎整備や環境について

質問通告2

熊谷 照男 議員



①図書館の運営について

Q 図書館で多くの本に親しんでいただく指標として、開架蔵書新鮮度があります。令和2年12月定例会の一般質問で示された開架蔵書新鮮度と現在の指標と見解に乖離はないですか。

A 令和5年度の開架蔵書新鮮度は0.023で、当時の0.034から低下しております。購入冊数は減少しておりますが、リクエストがあった新刊図書を購入するほか、他館と借受提供を行い、利用者の多様なニーズに応えるよう、努めております。

図書館は、住民の大切な場所で、文化施設でもあり、子どもたちの未来への投資でもあります。湯河原町には、1館あるのみです。図書購入費を上げてほしいです。

Q 地下駐車場から図書館入口に上がる際、階段に手すりなどがなく、考えてほしいです。

A 今後、どれくらいの方が利用されるのかを調査した上で、手すりについては検討させていただきます。

②湯河原中学校の校舎整備や環境について

Q 中学校において、毎月1回、先生方に対して教室・体育館などの修繕箇所を出してもらっていますか。

A 学校側から修繕箇所があれば相談を受けています。

Q 武道室に入って右側天井と3階渡り廊下天井、体育館天井及び舞台右側天井で雨漏りが発生していて、武道室は、4年間対応されていません。早めに修繕するようにしてください。

A 早急に対応することができず、まだ修理していない所もあります。今後は、屋根の防水塗装などを検討しているところです。

①湯河原町の歴史資料について ②郷土の歴史学習の指針作りに関して

③大規模災害時の水の確保について

質問通告3

上田 尚彦 議員



①湯河原町の歴史資料について

Q 「湯河原郷土資料展示室」にありました歴史資料は、現在湯河原小学校4階に保存対策を施されず置かれています。今後どのように保管・修復・展示されるのか考えを教えてください。

A 文化財としての適切な保管・保全について検討しているところで、それぞれの資料に合った修復方法などについて、調査、研究を行ってまいりたいと考えております。展示場所については、温泉場地区を中心に設置場所について検討してまいりたいと考えております。

②郷土の歴史学習の指針作りに関して

Q 内藤町長が所信表明で目指される「シビックプライドの醸成」のために必須と思われます。郷土の歴史についての認知はまだ不十分と考えます。小中学校における郷土の歴史教育について、指針づくり・学芸員の採用・外部の人材活用について

考えを教えてください。

A 学習指導要領に基づき取り組む中で、郷土の歴史についてさらに触れる機会を増やしてまいりたいと考えております。また、学芸員の採用については、資格も重要ですが、土肥会のように郷土の歴史を守る会を応援することも大切であると考えております。

③大規模災害時の水の確保について

Q 湯河原町は、災害発生時には陸の孤島になりやすく、水の確保が懸念されます。多くの市区町村で実施されている「災害時協力井戸制度」を、湯河原町でも導入する考えはありますか。

A 現在、飲料水として使用しない井戸につきましては、町ではその数など実態を把握しておりませんので、今後、町内の井戸の実態把握を含め、導入の可否について検討してまいります。

①保育園における完全給食の実施について



質問通告4

松井 一 寿 議員

①保育園における完全給食の実施について

Qこれまで0歳児から2歳児の主食が提供され、3歳児から5歳児までの主食が提供されていない理由をお伺いします。

A国内の保育園給食は、昭和24年に「保育施設給食実施要綱」が制定され、保育所での給食が実施されることとなり、当時は戦後間もないことから、主食を確保するのは困難であり、財政的にも予算の確保が難しく、0歳児から2歳児については完全給食、3歳児から5歳児については副食のみの給食で開始されたと言われております。

本町におきましても、同様に3歳児から5歳児までの主食につきましては、自宅からのご持参をお願いしてきた経緯と推察されます。

Q現在、3歳児から5歳児について主食は持参となっておりますが、持参された主食は喫食時間までどのように保管されていますか。

A梅雨時期から10月中旬頃までは、登園時に給食袋ごとお預かりし、冷房の効いた職員室で管理を行っております。また、それ以外の時期につきましては、各園児のリュックなどの中で保管を行っており、これまでに事故などはございません。

Q今後、3歳児以上の園児にも主食を提供し、全園児への完全給食の提供を実施するお考えはありますか。

A令和6年3月に実施をいたしました、「湯河原町こども計画策定のためのアンケート調査」において、完全給食の実施について、ご意見などをいただいております。また、県内においても、公立保育所における完全給食の実施を行っている自治体もあり、まずは保護者のニーズのさらなる情報収集を図るとともに、保育園としての設備や体制面、保護者に求める費用などの課題を整理の上、実施に向けた可能性などについて検討してまいります。

①本町におけるクーリングシェルターなどについて



質問通告5

石井 温 議員

①本町におけるクーリングシェルターなどについて

Q熱中症警戒アラートの令和6年の発表実績を伺うとともに、「熱中症警戒アラート」と「熱中症特別警戒アラート」の周知内容などの違いについて、お伺いします。

A「熱中症警戒アラート」は、熱中症にかかる危険性が極めて高いことが予想され、より積極的な熱中症予防を求める場合などに、国の発表に基づき、本町においては、当日の午前9時30分に発表しており、令和6年の実績は、37回でした。

一方で、「熱中症特別警戒アラート」は、国が示す危機管理を促すキーメッセージとして、人の健康に係る重大な被害が生じる恐れがある旨をお知らせするもので、令和6年の本町での実績はございませんが、発表するに当たっては、前日の午後5時と当日の午前9時の合計2回、防災行政無線及びメールマガジンにて同時に周知すること

しております。

Q現在クーリングシェルターは、公共施設の4か所が指定されています。充足度についてご見解を伺うとともに、民間施設の活用を含め今後の方向性についてお聞かせください。

A本町のクーリングシェルターとして指定する対象施設は、日ごろから、暑さを避けることのできる身近な公共施設をご活用いただいておりますが、一方で、対象施設の場所や開閉時間の偏りなどの課題が生じているところです。本町では、これまでも湯河原駅バスロータリーにミスト装置を設置するなど、暑さ対策のための快適な空間づくりに努めてきたところですので、引き続き、町民自らが危険な暑さから命を守るために、身近で快適な環境などが選択できるよう、民間施設を含めたクーリングシェルターなどの拡充について検討してまいります。

①町内小学校の水泳授業について ②防犯対策について

質問通告 6

笠原 進 議員



①町内小学校の水泳授業について

Q町内小学校のプール施設の維持管理にかかるコストや老朽化への対応について、どのように考えていますか。

A令和5年度の電気代を除く維持管理費は3校合計で約70万円。老朽化に伴い、今後予想される修繕は、現段階で吉浜小学校のろ過装置の更新工事で、費用は約1,250万円と試算されています。教育委員会では、教員の負担軽減やコスト削減を目的に、民間施設での水泳授業の実施を検討しています。

Q今後の民間施設での授業実現に向けて、来年度、町内小学校のいずれか1校でテスト的に実施する可能性がありますか。

A修繕費用なども踏まえ、検討を進めてまいります。



②防犯対策について

Q高齢者を含む住民の安全を守るため現状と計画を教えてください。

A防犯灯の設置を各区の要望に応じて進め、防犯カメラの設置や助成も実施しています。また、防犯パトロールやキャンペーンで意識向上に努め、警察と連携しながら安全・安心な町づくりを進めています。

Q「斜めの関係」を生かした多世代の支え合いはもちろんですが、町内の清掃車や宅配業車など、民間との協業による取り組みも必要だと思いますが、いかがでしょうか。

A郵便局とは、防犯や高齢者見守りに関する包括的な協定を結んでおります。ご意見を参考に、今後具体的な取り組みを進めてまいります。

①コキアの郷の運営及び見学会実施結果について ②豪雨災害における対応について

質問通告 7

渡辺 久子 議員



①コキアの郷の運営及び見学会実施結果について

Q令和5年度に実施した見学会が不調に終わったにもかかわらず今年度も見学会を実施した理由は何ですか。

Aコキアの育成をはじめとする、コキアの郷づくりに係る様々な取り組みに協力をいただいている皆様がコキアの育成状況を確認するなど、町民、コキアサポーター及び観光客にお越しいただくことを想定し、実施しました。

Q令和7年度以降についての展望をお示してください。

A本事業は国の交付金を活用して令和4年度から取り組みを開始し、令和5年度から令和7年度の3年間で、実証実験として育成ノウハウを蓄積し、植栽地についての整備を進めております。多くの町民の皆様がコキアサポーターとして関わっていただくことにより、郷土愛醸成の一助となる

よう、また、本町の入込観光客数が少ない時期の9月から10月頃に見ごろを迎えるコキアが新たな観光資源となり多くの観光客が訪れる場所となるよう、これまでの反省点を踏まえて、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

②豪雨災害における対応について

Q土砂災害が発生した場合、最初に通報する部署は消防署で良いでしょうか。

A大雨などにより災害が発生する可能性が予測される場合、防災担当部署の職員も登庁しておりますので、役場または消防署へ通報をいただければ、情報共有できる体制をとっております。

Q災害にあった場合、役場の中で相談できる部署はどこですか。

A民地の災害などについて役場は関与できませんが、対処するための相談先の紹介など総体的に地域政策課が窓口となって対応します。

総務文教・福祉常任委員会

(12月5日開催)

<主な案件>

●路線バス退出等意向申出等に係る方針について(案)

改めて運行会社より令和7年3月31日をもって路線廃止する意向がある旨の申し出を受け、平日1本のみの運行であった湯河原駅～福浦～真鶴駅の系統の廃止を受け入れ、湯河原駅～長窪～真鶴駅、湯河原駅～鍛冶屋・幕山公園の2系統に関しては、町による赤字補填を実施することで路線の維持を図る方向で協議をしており、さらに人件費や燃料費の高騰、法律の改正や運転手不足からコミュニティバスにおいても減便の申し出があり、令和7年度は現在の体制を維持する方向で協議しているが、令和8年度以降の運行は今後協議していく旨の説明を受けました。

委員からは、現在の事業者との交渉状況について、国に対する働きかけについて、近隣の市町での状況について、バス運転手雇用の町の事業者支援の考え方についてなどの質問や意見がありました。

●敬老行事の見直し等について(案)

長寿健康祝金に関し、長寿年齢に対する意識の変容に伴い、100歳のみ(10万円)とする案について説明を受けました。

委員からは、100歳の祝金額を3万円から10万円に変更する根拠について、財源確保を踏まえた祝金の金額について、近隣市町の状況について、長寿夫婦記念品の贈呈回数について、パートナーシップ制度の考え方について、祝金の贈呈方法について、給付対象の認定方法についてなどの質問や意見がありました。

●高齢者福祉事業の拡充等について(案)

「住民が住民を支える仕組みづくり」や「高齢者温泉入浴事業の見直し」、「見守りライト貸与事業の実施」について説明を受けました。

委員からは、「住民が住民を支える仕組みづくり」の住民主体団体の考え方について、支援する側とされる側の高齢者のすみ分けについて、事故などの損害が起こったときの保険について、「見守りライト貸与事業」の補助対象者や費用負担(無償と有

償で補助)、住民への周知方法などについての質問や意見がありました。

●国民健康保険事業について(案)

被保険者の減少や一人当たりの保険給付費(医療費)が増加傾向であることに伴う今後の保険料の推移や段階的な引き上げについて、令和7年度の一人当たりの保険料を10%程度引き上げる考えについて、説明を受けました。

委員からは、基金の充当について、県の統一料金の考え方について、県の統一料金後の基金の保険料への充当可否についてなどの質問や意見がありました。

<その他の案件>

●湯河原町男女共同参画プラン改定案について

●(仮称)ゆがわらこどもまんなかプラン2024の素案について

●閉会中の継続調査(所管事務等)申出について

<報告事項>

●宿泊税導入に関する検討スケジュールについて

●タイ国ブンイトー市への訪問(JICA草の根技術協力事業)について

●令和6年11月2日の大雨による災害について

●令和6年度不能欠損予定額について

<その他報告事項>

●「駅前の居場所」のグッドデザイン賞受賞について

●令和6年度湯河原町総合防災訓練(結果)について

●令和5年度保健衛生活動報告書について

●令和6年度湯河原町民レクリエーションの集い(中止)について

●2025年度湯河原温泉オレンジマラソンについて

(12月24日開催)

<案件>

●みやのうえ保育園整備事業について

みやのうえ保育園新園舎建設期間中のみやのうえ保育園児の保育場所などについての説明がありました。

環境・観光産業常任委員会

(12月3日開催)

<主な案件>

●湯河原町災害廃棄物処理計画(案)について

災害時の災害廃棄物の迅速かつ適正な処理及びリサイクルを図るための基本方針及び実施体制について定める「湯河原町災害廃棄物処理計画」(案)についての説明がありました。

また、今後は町民に対し、周知も含めてパブコメなどを行っていくとの説明がありました。

委員からは、災害廃棄物の仮置き場の面積や設置場所などについての質問があり、町側からは、地震別被害想定の国の算定基準に基づき、仮置き場の必要面積を設定したが、想定した対象地震が関東型地震であるため、神奈川県西部地震、相模トラフ沿いの最大クラスの地震については、不足が見込まれる。今後、そうした災害が発生した際には、これ以外の仮置き場の確保が急がれるが、道路状況によって、仮置場候補地に行けないことが考えられるため、実際には災害時の状況を踏まえながら検討していく必要があるとの回答がありました。

●消防団員準中型自動車免許取得費補助金(案)について

消防団の配置車両を運転するために必要となる準中型自動車免許を取得するための費用を町が補助する制度についての説明がありました。

委員からは、補助を受けるための団長推薦、在籍年数や途中退団についての規定の策定などについての意見がありました。

<その他の案件>

●閉会中の継続調査(所管事務等)申出について

<主な報告事項>

●令和6年度梅の宴行事実施計画及び臨時直通バスの代替案について

令和7年2月1日(土)から3月9日(日)まで開催される梅の宴行事について、期間中に行われるイベントの内容や行事のPR方法、臨時直通バスの代替案などについて説明がありました。

昨年と同様にバスの運転手不足により、従来の臨時直通バスを運行することができないため、町職員などがワゴン車、観光バス、町バスなどを運転し、会場までの交通手段を確保しながら運営する報告を受けました。

●令和6年度コキアの郷の実証実験について

令和6年のコキアの郷の生育状況、今後の整備計画

などの説明がありました。また、コキアの郷事業は、町ボランティアの参加型育成事業として、今後の事業内容を検討していきたいとの説明もありました。

<その他報告事項>

●ゆがわらフェスについて

●ニホンザルの生活被害状況調査の実施について

●第30回全国消防操法大会結果について

●令和7年湯河原町消防出初式について

公の施設等整備調査特別委員会

(12月3日開催)

<報告事項>

●「湯河原町庁舎のあり方」アンケート結果について

湯河原町庁舎のあり方を検討するに当たり、令和6年8月に実施したアンケート結果の報告がありました。

委員からは、アンケート調査方法についてや今後の予定などについての質疑や、調査結果から見た意見などがありました。

●地域福祉会館整備事業(鍛冶屋会館)について

各会館の耐震補強改修などを優先度に沿って進める中で、鍛冶屋会館の改修箇所調査の結果から改修や更新・撤去が必要と見込まれる主要箇所の説明と今後の改修スケジュールの報告がありました。

(12月24日開催)

<案件>

●みやのうえ保育園整備事業について

みやのうえ保育園新園舎建設に当たり、課題やスケジュールの変更などについての説明がありました。

広域行政特別委員会

(12月2日開催)

<案件>

●令和6年度第2回湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会提出案件について

協議会委員の変更についての報告、真鶴聖苑の委託事業者選定にかかる疑義の調査結果について、下水の処理に関する負担について質疑応答しました。

委員からは、真鶴聖苑の委託事業者選定にかかる入札での公平性や疑義の解消について、下水処理施設の管理経費及び建設費の負担金についての質問がありました。

各議員の委員会等への出席・傍聴状況（令和6年4月～令和6年12月）

委員会名等	開催 日数	議 員 名														
		貴田 太史	笠原 進	早乙女 智子	土屋由希子 ※1	上田 尚彦 ※2	熊谷 照男	渡辺 久子	松野 洋一	石井 温	善本 真人	松井 一寿	室伏寿美夫 ※9	山本 俊明	村瀬 公大 ※9	土屋 誠一
議会運営委員会 ※3	17	出席 17			6				17	17		17	16	11		17
		傍聴		17		11	17	16			17			6	16	
総務文教・福祉 常任委員会	7	出席 7		7				7				7	7		7	7
		傍聴		7	2	3	5		7	7	7			7		
環境・観光産業 常任委員会 ※4	4	出席	4		2	2	4		4	4	4			4		
		傍聴 4		4				4				4	4		4	4
広域行政特別委員会 ※5	5	出席	5		2				5	2		5	5	5		5
		傍聴 4		4		3	5	5		3	5				5	
議会だより編集委員会 ※6	7	出席	7		3	4	7			7	7		6			
		傍聴 7		7				6	7			7		7	6	3
公の施設等整備調査 特別委員会	5	出席 5		5				5	5		5	5		5		
		傍聴	5		2	2	4			5			5		5	5
決算審査特別委員会	2	出席 2						2	2	2	2	2	2			
		傍聴	2	2		1	2							2	2	2
全員協議会 ※7	3	出席 3	3	3	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
所属する委員会及び全員協議会 への出席状況 ※8		出席 34	19	15	14	8	14	17	36	35	21	39	39	28	10	32
		回数 34	19	15	14	8	14	17	36	35	21	39	41	28	10	32
所属しない委員会の傍聴状況 ※8		傍聴 15	31	34	4	20	33	31	14	15	29	11	9	22	38	14
		回数 16	31	35	4	24	36	33	14	15	29	11	9	22	40	18

- ※1 土屋由希子議員は、令和6年6月23日執行の湯河原町長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により令和6年6月18日に町議会議員の職を自動失職しました。
- ※2 上田尚彦議員は、議員1名の欠員が生じたため、公職選挙法第112条第5項の規定により選挙会が開かれ、令和6年7月1日に繰上補充により当選しました。
- ※3 議会運営委員会は、令和6年7月4日以降は山本議員が就任しています。
- ※4 環境・観光産業常任委員会は、令和6年7月4日以降は上田議員が就任しています。
- ※5 広域行政特別委員会は、令和6年7月4日以降は石井議員が就任しています。
- ※6 議会だより編集委員会は、令和6年7月4日以降は上田議員が就任しています。
- ※7 全員協議会は、全議員が出席するため傍聴はありません。
- ※8 議員により委員会所属状況が異なるため、所属する委員会の回数、所属しない委員会の回数は異なります。
- ※9 コミュニティベース統合型高齢者ケアプロジェクト参加のため、村瀬議長、室伏議員は委員会2回分を欠席しています。（詳細は12ページをご覧ください）

議会報告会について

町議会議員が直接、町民の皆さんに常任委員会の報告を行い、皆さんからのご意見をお聴きします。

議会報告会終了後には、町議会議員との意見交換会を行います。

詳しい内容はホームページをご覧ください。

日時：3月27日(木) 18:00～19:30

場所：防災コミュニティセンター

205会議室



※申し込みは不要です。
直接会場へお越しください。



議会報告会

タイ王国 自治体ネットワークによる コミュニティベース統合型高齢者ケアプロジェクトに参加しました

11月4日(月)～9日(土)にタイ王国へ村瀬公大議長、室伏寿美夫総務文教・福祉常任委員会委員長が訪問し、草の根技術協力事業における「コミュニティベース統合型高齢者ケアプロジェクト」に伴う第4回マネジメント会議などへ出席しました。

このプロジェクトは、タイ王国・ブンイトー市に本町の介護予防の取り組みについて関心を持っていたことから、令和元年からブンイトー市を中心に相互交流が始まり、現在ではタイ王国内39自治体と介護分野や健康増進のための情報共有を行っています。



箱根駅伝観光キャラバンに参加しました



令和7年1月2日(木)に箱根駅伝往路ゴールの芦ノ湖畔付近で、湯河原みかん3,000袋と観光パンフレットの配布を行う観光キャラバンに村瀬議長、善本副議長、環境・観光産業常任委員会石井委員長・松野副委員長、広域行政特別委員会山本委員長・土屋副委員長が参加し、町長、商工会、観光協会、町職員と共にみかんを配りながら観光PRを行いました。

傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。本会議は先着20名、委員会は先着6名です。

【受付】会議開始1時間前から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

3月議会日程

2月 20日(木) 10:00	本会議(条例・補正・町長施政方針演説)
25日(火) 10:00	環境・観光産業常任委員会
28日(金) 10:00	総務文教・福祉常任委員会
終了後	公の施設等整備調査特別委員会
3月 3日(月) 10:00	本会議(代表質問・予算質疑)
4日(火) 10:00	本会議(一般質問)
6日(木) 13:30	広域行政特別委員会
7日(金) 10:00	予算審査特別委員会(一般会計)
10日(月) 10:00	予算審査特別委員会(特別・企業)
12日(水) 14:30	本会議(委員長報告)

※1月31日時点の予定のため、変更の可能性があります。最新の議会日程については、町議会ホームページでご確認ください。



議会日程

編集後記

巳年は「復活と再生」を意味し新しいことが始まる年になると言われているそうです。今年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年になるように心より祈念申し上げます。

12月議会では全員協議会が開催され、議会報告会のあり方について協議しました。いかに議会の内容を町民の皆様にご存知いただくか、いかに町民の皆様のご意見を議会に反映させるかについて、真剣で活発な意見交換が行われました。議会だよりもより町民の皆様にご情報をお伝えできるように精進してまいります。

(上田 尚彦 記)

議会だより編集委員会

委員長	石井 温		
副委員長	室伏寿美夫		
委員	笠原 進	上田 尚彦	
	熊谷 昭男	善本 真人	